

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成28年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	秋川ふれあいランド	指定管理者	あきる野市観光協会(秋川支部)
指定期間	平成26年4月1日から 平成29年3月31日まで	担当課	観光商工課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数(日)	316	152	48.1%	
	延べ利用者数(人)	16,500	11,177	67.7%	
収支状況	収入	指定管理料(円)	—	—	
		利用料金(円)	8,000,000	6,951,280	86.9%
		自主事業収入(円)	—	—	—
		その他の収入(円)	3,000,000	2,050,200	68.3%
	収入計(円)		11,000,000	9,001,480	81.8%
	支出	人件費(円)	4,680,000	2,278,141	48.7%
		維持管理経費(円)	1,155,000	306,890	26.6%
		自主事業関係経費(円)	—	—	—
		その他の支出(円)	4,609,000	2,326,542	50.5%
	支出計(円)		10,444,000	4,911,573	47.0%
収支(収入-支出)(円)		556,000	4,089,907	—	

指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開園日数152日(内入客日数100日)、入客数11,177人(前年度比77.5%)。11日間は台風の影響を受けての休園となった。	【事業の実施状況について】 計画に基づき事業を実施した。	【収支状況について】 事故防止、園内整備等の費用増大を踏まえ、節水、節電等諸経費の節約により、収支の向上に努めた。
--	--	---

所管課の評価(指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 台風等の影響により計画より開園日数が減った。これに伴い、入客数も伸びなかった。	【事業の実施状況について】 計画に基づき事業を実施した。	【収支状況について】 園内の環境整備に配慮しつつ、経費削減に努めたことは評価できる。
---	--	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項(数値目標)	確認資料等	指定管理者の 自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報	適正 ・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報	適正 ・要改善
施設・設備の 維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書	適正 ・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	実地	適正 ・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	実地	適正 ・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正 ・要改善

安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	人員配置計画、実地	適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	1回/年 研修マニュアル	実施回数1回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>上半期の状況においては、繁忙期の7月～9月の土日祭日に集中する職場のグループ活動など各種団体や平日利用の多い学生のサークル活動の減少が実績を下回る要因と考えている。</p> <p>予約時の問い合わせには、川遊び、魚釣り、ゲームスペースの有無等が多いが、事前に確認がない団体の中には来園して直後に条件が合わず、帰ってしまうグループがあった。今後は、川遊び、魚釣り、ゲーム等を楽しみながらバーベキューすることを希望する来場者の声に応えていけるよう工夫をしていきたい。</p> <p>また、繁忙期には、遊泳の注意喚起の看板やライフジャケットの設置、監視員を付けるなどして安全対策の強化を行った。</p>
市による所見（指摘事項など）	<p>台風等の影響を大きく受ける結果となった。グループでの利用者減の要因について再検討を行い、利用者の期待にできる限り沿える努力を期待する。また、今まで以上に安全対策に重点を置き、利用者が安心して利用できる運営に努めるよう指導した。</p>